

「施策体系・指標体系」に対する意見及び回答一覧（10/9審議会当日）

No.	審議会委員から提出された意見			意見に対する回答	
	章	節	該当箇所	内容	
1	1	1	KGI（市民の健康寿命を延伸します）	市民の健康寿命延伸の観点から、市が率先して敷地内禁煙に取り組むとともに、受動喫煙防止条例整備をすすめていただきたい。	ご意見ありがとうございます。 既にご回答させていただきましたが、本市におきましては、現在、公民連携によるがん対策の勉強会を進めているところでありますので、その中で調査研究を行ってまいりたいと思います。 いずれにしましても、望まない受動喫煙を被る市民が生じないよう、がん対策および受動喫煙防止対策に関する各種施策を推進し、あわせて法律の施行に伴う敷地内禁煙や屋内禁煙を周知してまいりたいと考えております。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
2	1	2	KPI（重症心身障がい児（者）を支援する事業所数を増加します）	重症心身障がい児（者）の支援事業者が市内にないとのこと。西条市でぜひ1か所設置できるようすすめていただきたい。	ご意見ありがとうございます。 既にご回答させていただきましたとおり、後期基本計画の計画期間内には、何とか西条市内に多機能型事業所を設置することができるよう施策を推進してまいりますので、引き続きご理解を賜りますようお願いいたします。
3	1	1	CSF（生活支援体制整備協議体の設置数を増加）	内容がわかりにくいので、本文記載の際は、市民の方が理解できるような記載を検討していただきたい。	ご意見ありがとうございます。 本文中に注釈を入れるなどの工夫をしてみたいと考えております。
4	1	4	施策内容（地域医療体制の充実を図ります）	内科、外科、産婦人科など、市内で不足している分野の医師確保に引き続き取り組んでいただきたい。	ご意見ありがとうございます。 依然として厳しい状況にございますが、市全体の医師数の増加を図りつつ、優先度を踏まえて対応してまいりたいと思います。ご理解を賜りますようお願いいたします。
5	2	1	KGI（市民の自然環境の保全に関する関心を向上します）	3節のKGI「住みやすいと回答する市民の割合の向上」は、「%」で表示されていて分かりやすいが、関心度は実感として分かりにくいのではないかと。最低点、最高点を示すなど、分かりやすい表記となるよう工夫してもらいたい。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の関心度につきましては、上限値を2ポイント、下限値をマイナス2ポイントとした上で、各施策がどの位置にあるのかを度数として示した数値となります。その点がわかるよう上限値と下限値を本文中に掲載させていただきます。
6	2	1	施策内容（自然環境の保全に努めます）	施策の推進については、西条市地域連携保全活動計画としっかりとリンクさせることが重要。	ご意見ありがとうございます。 地域連携保全活動計画は、本市が自然環境保全を進めていくための基本指針であります。したがって、このたびの後期基本計画の策定におきましては、本市の最上位計画となる総合計画と地域連携保全活動計画を連動させることを意識した上で、指標設定の際に関連項目を設定させて頂いた次第であります。後期基本計画策定後は、地域連携保全活動計画の推進を図ることはもとより、後期基本計画における事業評価の観点からも、毎年度の進捗管理をしっかりと行っていきたいと考えておりますので、引き続きご理解ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

No.	審議会委員から提出された意見				意見に対する回答
	章	節	該当箇所	内容	内容
7	2	1 4	KPI（自然保護活動に取り組む市民活動団体を増加します）	ハードルが非常に高いのではないかと。例えば、自然環境保全に取り組んでいる団体などとするのと該当する団体も増えるし、私たちもそうじゃないかなと思う団体もでてくるのではないかと。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘いただきましたように、表現がやや難解で固くなっていることから、ハードルが高いと受け取られてしまう可能性があるかと想定されます。自然環境の保全に関する活動を行う市民団体を幅広く捉えるという観点、および市民の皆様が読みやすく理解しやすい総合計画を策定するという観点を踏まえ、「自然環境を守る活動に取り組む市民団体を増加します」という表現に修正させていただきます。
8	2	2 3		環境省が公表するデータなどを基に、向上や維持を目標とした数値が設定されており、妥当であると考えています。	ご意見ありがとうございます。 今後、市民の皆様から成果を実感していただくことができるよう、しっかりと計画行政を推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。
9	3	1	全KPI	前期基本計画の目標値は「%」での表記であったが、今回は「橋りょうの数」など、市民が理解をしやすい表記になっていると感じています。	ご意見ありがとうございます。 今後、市民の皆様からわかりやすいと言っていただける計画行政を推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。
10	3	3		小型船だまりの整備について先が見えない。早期完成に向けて、しっかりと国や県に対して要望してほしい。	ご意見ありがとうございます。 西条地区小型船だまりの整備促進につきましては、今後とも積極的に国および県に対して要望し続けていかなければならない課題であると理解いたしておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。
11	3	4	KPI（都市公園の遊具の健全化率を向上します）	事前聞き取りでの意見「遊具の健全化率の目標値が低く感じられる」に対し、目標数値の設定方法を再検討いただき、市民にとって理解しやすくなったと感じています。	ご意見ありがとうございます。 市民の皆様からわかりやすいと言っていただける計画行政を推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。
12	3	全節		事前聞き取りでの意見に対する回答については、概ね意見を反映されており了解した。	ご意見ありがとうございます。 市民の皆様から成果を実感していただくことができるよう、しっかりと計画行政を推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。
13	4	1	CSF（校区（地区）別単位の防災組織の結成率向上）	自主防災組織は行政主導で設置されたものが多く、自主的な活動ができていない組織や、役員が変わるときに引き継ぎができていない組織があるなどの問題が顕在化しているため、結成率だけを追う指標については検討の余地があると思われる。現在進められている地区防災計画やマイタイムライン等の取り組みも参考にしたらよいのではないかと。	ご意見ありがとうございます。 これまでに市内で設置されている自主防災組織の中には、ご指摘のような課題を抱えている組織があることは承知しております。また、ご指摘いただいた課題に加え、自治会員の高齢化が進む地域や、マンション、アパートの増加を背景として自治会に加入されていない市民の方が多い地域などもありますことから、地域の実情を踏まえ、今後は弾力的かつ包括的に地域防災のあり方を考えていくことが大切と考えております。したがって、自助・共助・公助を推進するという観点から、既存の自主防災組織のあり方を再検討すると共に、まずは各校区（地区）を包括する防災組織を1つ設置することが不可欠であると考え、校区（地区）を単位とした指標を設定しているところでございますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

No.	審議会委員から提出された意見			意見に対する回答	
	章	節	該当箇所	内容	
14	5	1	KPI（児童生徒100人あたりの教育用タブレット台数を増加します）	<p>本市のICT教育は、現在、市内全小中学校に電子黒板や、デジタル教科書が整備されるなど、子どもたちへの教育活動に大いに効果を表している。さらにそれを充実させようということで、指標自体はいいが、数値の設定がわかりにくいのではないかと。100人あたり100台とするのか、1人1台とするのか、100%と表現するのか、今一度検討する余地があるのではないかと。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえて再検討しました結果、文部科学省が用いている「台数1台あたりの児童生徒数」をKPIとさせていただきます。また、成果指標の表現につきましても、「小中学校における教育用タブレットの導入をすすめます」に修正させていただきます。 なお、1人1台という表現につきましては、令和6年度の目標値については児童生徒1人1台とわかりやすい設定とすることが可能ではございますが、令和元年度時点の現状値を児童生徒1人あたりの台数で算出すると、小数点以下の数値になってしまうため、かえってわかりにくくなると考えられます。ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>
15	5	1	KPI	<p>施策内容の「知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成」に対し、KPI「全国学力学習状況調査の結果を向上します」は「知」、「新体力テストで全国平均を上回った児童生徒の割合を向上します」は「体」にあたる。「徳」についても設定できればいいが、指標ですべてを網羅することは難しいと考える。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご指摘いただきましたとおり、指標ですべての政策目的を表現することは難しいところもございます。 本文中には、これまでどおり施策内容として「知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成」を明記いたしますし、指標設定の有無に関わらず、これまでどおりバランスの取れた施策の推進を図ってまいりたいと考えております。施策内容は市が今後推進していく施策の方向性、指標については、あくまで施策が効果的に実践できたかどうかを測定する観点であると捉えていただければと思います。ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>
16	5	2	KPI（西条ワクワク大賞（学術、芸術、文化分野）の受賞者を増加します）	<p>指標について、スポーツ表彰だけではなく、文化・芸術にも広げることはいいこと。ただ、目標値では「3人」とあるが、「3人（団体）」の表現とし、例えば、コーラスで全国大会に行ったとか子どもたちの頑張りを反映できる指標としたらどうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 表現についてはご指摘のとおりであります。修正するよう検討させていただきます。 また、表現の修正にあわせて、目標値を各年度1人（団体）の受賞者を想定し、累計で「5人（団体）」と上方修正させていただきます。</p>
17	5	4	KPI（図書館における市民1人あたりの貸出冊数を増加します）	<p>KPIについて、現在の「貸出冊数」でもよいが、年々、図書館の利用者が減るなかで、より利用しやすい環境整備を目指すという観点から、「利用人数」というKPIで、本を借りてはいないが、図書館で学習するなど、利用機会を増やすことに併せて貸出冊数の増加を目指す、そういう視点で考えてもよいのではないかと。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、図書館利用につきましては、本の貸出のみならず、館内閲覧やイベントを通じて多くの市民の皆様にご利用いただいております。その視点については今後も重視して図書館運営に努めてまいりたいと、図書館の利用環境に満足している市民の割合をCSFとすることで、「図書館利用環境の充実」が社会教育における重要決定要因となるよう整理させていただいた次第であります。 しかしながら、KPIにつきましては、人口減少がすすむ現状を踏まえ、利用人数ではなく、市民1人あたりの貸出冊数をKPIとすることとさせていただきます。ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>
18	6	1		<p>農業の担い手が少なくなっていることに対する対策をしっかりとしてほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 産業人材をめぐる課題は、極めて深刻かつ重要であると受け止めております。農業の担い手確保につきましては、全国的な傾向として本市に限らず有効な対策が見出しにくい状況でもありますが、先進事例の調査研究などを行いつつ、引き続き対策を講じてまいりたいと考えております。ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>
19	6	14		<p>農業経営の安定化支援や企業活動の活性化のため、アウトバウンド、インバウンドを促進してはどうか。特に台湾との交流促進については、非常に重要であり、丹原高校、もぎたてクラブの例を参考に推進したらどうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、アウトバウンドにつきましては、第6章第6節の本文中において、海外への輸出も視野に入れていることがわかる表現を盛り込ませていただきます。また、インバウンドにつきましては、第6章第7節において、記載を盛り込ませていただきます。ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>

No.	審議会委員から提出された意見				意見に対する回答
	章	節	該当箇所	内容	内容
20	6	8		産業人材の問題が大きいものであり、プロフェッショナル人材が必要。Uターン、Jターン施策を金融機関等と一緒に人材派遣の場づくりをしていってはどうか。	ご意見ありがとうございます。 産業人材をめぐる課題は、極めて深刻かつ重要であると受け止めております。ご指摘を踏まえ、Uターン、Jターンと仕事とのマッチングを図る方向性については、本文中に何らかの記載を検討させていただきたいと思っております。ご理解を賜りますようお願いいたします。
21	6	8		これから定年を迎える方を多く迎える中で、労働力不足が懸念される。西条市の工業出荷額についても、西条市出身者でない社員が支えている状況。西条市出身の人が帰ってくる施策を実施してほしい。	ご意見ありがとうございます。 産業人材をめぐる課題は、極めて深刻かつ重要であると受け止めております。ご指摘を踏まえ、Uターンと仕事とのマッチングを図る方向性については、本文中に何らかの記載を検討させていただきたいと思っております。ご理解を賜りますようお願いいたします。
22	6	9		移住斡旋について、仕事とセットで斡旋することが効果的ではないか。	ご意見ありがとうございます。 本市の移住施策につきましては、移住希望の方が抱えるニーズを把握しながら、ニーズに沿って個別オーダーメイドに対応する本市独自の方式を採用しております。移住希望の方は、住居、仕事、学校環境など様々な不安を抱えられておられますが、その中でも特に仕事については、本市に移住していただくための重要な決定要因になっているのではないかと理解しており、関係団体と連携しながら、移住者の不安を解消することができるよう可能な限りの対応をさせていただいているところであります。 今後とも、多くの移住希望の方が本市への移住を希望していただけるような仕組みづくりを検討してまいりたいと考えております。ご理解を賜りますようお願いいたします。
23	6	9		市内には、まだまだ使える空き家がたくさんあるのではないかと、もっと調べる必要があるのではないかと。	ご意見ありがとうございます。 本市では、現在ホームページ上に空き家バンクを開設しており、所有者が売却または賃貸を希望すると意思表示され、かつ今後も継続して利用可能であるなどの一定の条件を満たした空き家を掲載し、利用希望者を募っております。また、これまで固定資産税納税通知書と合わせて空き家バンクの案内文書をお送りするなどの情報発信も行っており、多数の空き家の成約に繋がるなどの成果を創出しております。 一方で、それぞれの空き家には所有者がおられることから、実際に再活用を前提とした対策を行うには、まずは所有者に意思表示していただくことが大前提となります。更には、本市および本市が協定書を締結する西条宅建協会および周桑宅建協会が状況調査を行い、結果的に利用が難しいとの判断から、掲載に至らない空き家もございます。 本市としましても、空き家対策は重要な課題として認識しているところではございますが、一方で、未だ所有権の問題など課題も多くございますことから、今後とも情報把握に努めながら、市として可能な対応を進めてまいりたいと考えております。ご理解を賜りますようお願いいたします。
24	7	1	CSF（西条市版ローカルファンドの構築）	「ローカルファンド」という言葉自体が市民に馴染みがないので、わかりやすいネーミングを使ったらどうか。また、図式などもうまく活用することも必要ではないか。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、本文中に注記を記載させていただきます。また、市民の皆様が理解を深めることができるよう、今後とも情報発信に努めてまいりたいと考えております。ご理解を賜りますようお願いいたします。
25	7	2	CSF（市とパートナーシップ協定を締結する地域自治組織の増加）	「地域自治組織の増加」について、現在ある自治会や婦人会の活動に加えて新しい組織をつくるイメージを持たれるのではないかと。実際はそうした負担を減らしていこうという取り組みなので、少し表現を変えてみてはどうか。市民の方に自治とは何か理解していただくことも大切ではないか	ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、本文中に注記を記載させていただきます。また、市民の皆様が理解を深めることができるよう、今後とも情報発信に努めてまいりたいと考えております。ご理解を賜りますようお願いいたします。

No.	審議会委員から提出された意見				意見に対する回答
	章	節	該当箇所	内容	内容
26	7	3	KPI（地域創生センター滞在者を増加します）	地域創生センターについて、宿泊して滞在する数である「滞在者数」ではなく、「利用者数」という観点かどうか。	ご意見ありがとうございます。 地域創生センターは、大学生や教職員が利用することができる滞居室以外にも、調査研究以外の目的で一般市民の方が広く利用することができる研修室や食堂などの機能を備える多機能施設であるため、大学・研究機関との連携を測定するための効果的な指標設定といたしましては、宿泊を問わない「交流人口」という視点に加え、施設に宿泊される「滞在者数」という視点を組み合わせることで評価検証することが妥当ではないかという結論に至った次第であります。ご理解を賜りますようお願いいたします。
27	7	3	施策内容（男女共同参画を推進します）	男女共同参画の推進について、女性だけではなく、男性の育休取得等の観点も必要ではないか	ご意見ありがとうございます。 当該案件につきましては、本計画が市の最上位計画であることを背景に、CSFにおいては市民の皆様の男女の地位に関する意識を総合的に把握できる項目を設定した上で、KPIにおいては、市として特に対策が急がれる課題から優先して設定させていただいた次第であります。 育休取得につきましては、市役所内外において、性別を問わず育休を取りやすくなる環境づくりを進めていきたいと考えており、この点につきましては、本文中ならびに下位計画となる「西条市男女共同参画計画」に掲載し、推進していきたいと思っております。ご理解を賜りますようお願いいたします。
28	7	4	CSF（財政健全化判断比率の維持）	財政健全化判断比率や財政力指数について、市民がどのように判断、検証すればよいか。工夫が必要ではないか。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、本文中に注記を記載させていただきます。また、市民の皆様が理解を深めることができるよう、今後とも情報発信に努めてまいりたいと考えております。ご理解を賜りますようお願いいたします。
29	7	5	KPI（業務用通信回路のうち民営回線を利用する割合を向上します） （マイナンバーカードの普及率を向上します）	目標値が100%となっているが、達成は厳しいのではないか。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の2点のうち「業務用通信回線のうち民営回線を利用する割合」につきましては、本市の実情を踏まえた上で、後期基本計画の計画期間内に確実に達成しなければならない課題として設定させていただいております。一方で、「マイナンバーカードの普及率」につきましては、大変厳しい目標であることは重々承知しているところでございますが、国策において令和4年度中にほとんどの国民がマイナンバーカードを有することを目標として掲げられていることもあり、国策に沿って目標設定を行った次第であります。ご理解を賜りますようお願いいたします。

第2期西条市総合計画後期基本計画 施策体系・指標体系一覧(審議会後修正箇所)

基本目標	対応する施策	後期基本計画									前期基本計画						
		めざそう値 (KGI)	目標値			めざそう値を達成するポイント はここだ！(施策の決定要因) (CSF)	施策内容	成果指標(KPI)	目標値			項目(指標)	目標値				
			基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	検証方法				基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	検証方法		基準値 (平成25年度)	目標値 (令和元年度)			
2 豊かな自然と共生するまちづくり	(1)自然環境の保全	市民の自然環境の保全に関する関心を向上します	1.197	1.500	市民に対するアンケート調査	重点保全地区(31か所)の設定目標を達成	自然環境の保全に努めます	自然保護活動に取り組む市民活動団体を増加します	8団体	10団体	実績に基づき検証	カブトガニの幼生発見数	10匹	20匹			
								↓				自然環境を守る活動に取り組む市民団体を増加します	西条市地域連携保全活動計画	未策定	策定		
								市内で開催される自然観察会・ワークショップの参加者数を増加します				126人(H30)	140人	実績に基づき検証			
	(2)水資源の保全	市民一人ひとりの水使用量を抑制します	298㎡/日(H30)	284㎡/日	上水道・簡易水道の給水量およびモニター調査に基づき検証	地下水位の低下を抑制	「うちぬき文化」を守り、育て、次世代へ引き継ぎます	生活用水の使用量を抑制します	298㎡/日	284㎡/日	上水道・簡易水道の給水量およびモニター調査に基づき検証	かんがい期の加茂川(長瀬)地点5㎡/秒以上の流量確保日数	53日	153日			
								企業活動における地下水利用量を抑制します	15,466㎡/日(H30)	15,000㎡/日	関係団体に対する聞き取り調査	水源の森整備事業実施面積(累計)	—	約380ha			
						地下水保全条例の適用範囲の拡大	健全な水環境の保全に対する意識の向上を図ります	農業用水としての水利用量を抑制します	不明	数値化し削減する	関係団体に対する聞き取り調査						
								塩化物イオンの濃度の上昇を抑制します	290mg/l(H30)	290mg/l	モニタリング地点における濃度を観察						
	(3)生活環境の整備	住みやすいと回答する市民の割合を向上します	38.5%	60.0%	市民に対するアンケート調査	市全体のごみ排出量の抑制	3R(リデュース・リユース・リサイクル)を促進します	道前クリーンセンターの延命化工事を実施します	0%(H30)	100%	実績に基づき検証	1人当たりごみ排出量	678g/日	649g/日			
								市民1人1日あたりのごみ排出量を減少します	779g(H29)	706g	環境省が公表するデータに基づき検証	再資源化率	10.6%	22.0%			
								リサイクル率を向上します	9.9%(H29)	12.0%	環境省が公表するデータに基づき検証	生活排水処理人口	77,779人	81,392人			
						汚水処理人口普及率の向上	生活排水の適正な処理を推進します	合併処理浄化槽の設置件数を増加します	205基(H30)	220基	実績に基づき検証						
	(4)環境資源を活かした地域づくり	市民の環境資源を活かした地域づくりに関する関心を向上します	1.322	検討中	市民に対するアンケート調査	温室効果ガスの排出量の抑制	地球にやさしいまちづくりを推進します	再生可能エネルギーの導入を促進します	法に基づく事業として適切に実施			住宅用太陽光発電システム導入促進補助件数(累計)	1,985件	3,000件			
								公共施設からの温室効果ガスの排出を抑制します	法に基づく事業として適切に実施								
								自然保護活動に取り組む市民活動団体を増加します(2章1節再掲)	8団体	10団体	実績に基づき検証						
								重点保全地区(31か所)の設定目標を達成(2章1節再掲)	126人(H30)	140人	実績に基づき検証						

第2期西条市総合計画後期基本計画 施策体系・指標体系一覧(審議会後修正箇所)

基本目標	対応する施策	後期基本計画									前期基本計画						
		めざそう値 (KGI)	目標値			めざそう値を達成するポイント はここだ！(施策の決定要因) (CSF)	施策内容	成果指標(KPI)	目標値			項目(指標)	目標値				
			基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	検証方法				基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	検証方法		基準値 (平成25年度)	目標値 (令和元年度)			
5 豊かな心を育む教育文化のまちづくり	(1)学校教育の充実	市民の学校教育の充実に関する満足度を向上します	-0.538	0.000	市民に対するアンケート調査	学習活動が快適だと思える児童生徒の割合の向上	教育環境の整備・充実を図ります	校舎棟の改修をすすめます(累計)	0棟	8棟	実績に基づき検証	教育用パソコン	6.9人/台	3.6人/台			
								児童生徒100人あたりの教育用タブレット台数を増加します		100台	実績に基づき検証	電子黒板・実物投影機の整備率	11%	100% (1学級あたり1台)			
								↓	↓	↓							
								小中学校における教育用タブレットの導入をすすめます	5.4人/台	1人/台							
								不登校の児童生徒数の減少	「ともにつくり、みんなが育つ学校」の創造を推進します	適応指導教室の児童生徒が元の学校に戻った人数を増加します	0%	20%	不登校児童生徒の割合の減少率				
								いじめ・不登校に対応できるコミュニティ・スクールを増加します	0校	35校	結果に基づき検証						
	(2)地域文化の継承・形成	市民の地域文化の継承・形成に関する満足度を向上します	-0.738	0.000	市民に対するアンケート調査	文化芸術に触れる機会が恵まれていると思う市民の割合の向上	地域に根差した市民文化の振興を図ります	市民1人あたりの文化会館利用回数を増加します	1.5回	2回	実績に基づき検証	文化協会会員数	3,067人	3,400人			
								西条市ワクワク大賞(学術、芸術、文化分野)の受賞者を増加します(累計)	0人	3人	実績に基づき検証						
								↓	↓								
								0人(団体)	5人(団体)								
								ふるさと歴史文化に誇りや愛着を持っている市民の割合の向上	文化財の保護と活用を図ります	国史跡永納山城跡の保存整備をすすめます	6%	80%	実績に基づき検証	指定文化財数	174件	180件	
								ふるさと先人の教えに学ぶ機会が充実していると感じる市民の割合の向上	郷土の先人を顕彰します	偉人顕彰に関する情報発信を実施します	2回	2回	実績に基づき検証				
(4)社会教育の充実	生涯学習を通して地域課題の解決に取り組んでいる市民の割合を向上します	検討中	検討中	市民に対するアンケート調査	公民館の利用環境に満足している市民の割合の向上	地域づくり、人づくりを目指した社会教育を推進します	市民1人あたりの公民館利用回数を増加します	6回	7回	実績に基づき検証	公民館利用述べ人数	695,185人	743,000人				
							放課後子ども教室・地域未来塾・土曜教育の実施数を増加します	39教室	45教室	実績に基づき検証	放課後子ども教室実施数	11教室	17教室				
							図書館の利用環境に満足している市民の割合の向上	社会教育施設の利用促進を図ります	図書館における市民1人あたりの貸出冊数を増加します	7冊	8冊	実績に基づき検証	市民大学修了者数	232人	380人		
							人権・同和教育に関する講演会、研修会、懇談会に参加した市民の割合の向上	人権・同和教育学習機会を拡充します	市・西条市人権教育協議会が主催する講座の参加者を増加します	検討中	検討中	実績に基づき検証	講演会などに参加経験のある市民の割合	58.7%	64.0%		
(5)人権・同和教育の推進	市民の人権・同和教育に関する関心度を向上します	0.428	0.500	市民に対するアンケート調査	人権に関する意識の高まった市民の割合の向上	効果的な啓発活動を推進します	情報発信・啓発運動の手段を多様化し、啓発の機会を増加します	21回	25回	実績に基づき検証	同和問題が残っていると感じる市民の割合	60.4%	58.0%				